

第4回系統別(営業)意見交換会開催!!



12月13日、ふれあい会議室・新宿セイコービルにて、第4回系統別(営業)意見交換会を開催し、リモートを併用し14名の参加者で議論を行いました。

① 職場活動の強化に向けて

営業職場で発生している問題について意見交換を行いました。「職場は人手不足。9連続勤務になりかけた人がいる」「統括センターとなり乗務員が駅業務を行うようになったが、見習いは2~3時間程度だけ。実際に駅業務に就くのは3~4ヶ月に一度で間が空いて忘れてしまう」「ステーションバイブルについては『見てね』で終わり」「検修社員が作業着のまま改札業務を行っている」「アシストマルスが導入となったが、係員が出るまで10分程かかる。その間に列が出来てしまう」など、統括センター化やみどりの窓口閉鎖、アシストマルス導入等による多くの問題が明らかとなりました。そのような中で、ある職場では作業ダイヤが職場実態に合わないまま変更されようとする中で、組合員や青年部員が声をあげ作業ダイヤの一部変更を実現し、現在も改善に向けて取り組んでいる教訓的な実践が語られました。安全問題や会社姿勢を正し、労働条件を改善していくことはJR東労組にしかできないことであり、労働組合の必要性を未加入者や離脱者に訴えながら、組織拡大に繋げていく必要性について確認しました。

② 組織強化・拡大に向けて

年末手当の回答を受け、参加者それぞれの意見や職場の声を出し合いながら議論を行いました。「現場長に意見を言いに行った。意見を言わなければ納得したのと同じだ」「職場でもみんな低いと言っている」「管理者も少ないと言っている」「回答書を見たが、社員のことなど考えていないし、バカにしている!」など、それぞれの怒りや悔しさ、さらに職場では落胆の声が出ている現実が出されました。関原業務担当部長より「年末手当の感想で、未加入者がなぜそう言っているのか?そこまで掘むことが大切」と、今後のたたかいに向けたアドバイスを頂きました。参加者一人ひとりが組織強化・拡大、そして23春闘勝利に向けて未加入者や離脱者にさらに踏み込んでいく実践をしていくことを確認しました。

若手の悩みを聞けるのはJR東労組青年部だ!

全青年部員で組織強化・拡大を実現しよう!!

